

職員による自己評価

A 環境面

- ・必要な人員は確保されている。
- ・全館バリアフリーではないが必要に応じて対応している。

B 児童への支援内容

- ・長期休み時はイベント等を行っている。
- ・毎日、パート職員も含め打ち合わせを行っている。
- ・半年に1度、面談・アンケートを行い、個別支援計画を作成している。

C 関係機の連携

- ・専門家の監修を受けている。
- ・児童館や学童との交流は図っていない。
- ・学校送迎時に先生より様子を聞いている。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・ノートや送迎時に口頭でお子様様子を細かくお話ししている。
- ・保護者より、相談があった場合は職員で協議し、対応している。

E 非常対応

- ・避難訓練を行っている。
- ・保護者からお聞きしたアレルギーに基づき、表を作り管理している。
- ・ヒヤリハット報告書を作成し、活用している。

保護者による評価

A 環境面

- ・教室には配慮を感じるが教室に入るまでが分かり辛い。
- ・見学の時以外行く機会がない為、記憶にない。

B 児童への支援内容

- ・手先・体全体と楽しく活動できる工夫されている。
- ・他との交流は希望しない。(複数意見)

C 事業所からの情報発信

- ・保護者会があれば出席したい。
- ・保護者会の必要性は特に感じない。
- ・写真や動画など映像で子どもの様子が分かればもっと良い。
- ・ホームページのブログを楽しみにしている。
- ・送迎時やお便り帳にも良く記載してもらっている。

D 非常対応

- ・訓練されているかわからない。
- ・各マニュアルの説明は受けている。
- ・非常時の場合、親と離れていると思うのでマニュアルがあるようなら、それに沿って行動したい。

事業所内での分析

【共通点】

- ・保護者会は現在、行っていない。今後も必要ない。
- ・子ども達の様子を保護者と職員で共通認識している。

【相違点】

- ・保護者会は現在、行っていない。保護者会を開いてほしい。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・ホームページが充実している。
- ・微細運動・粗大運動を上手く取り入れ、活動している。
- ・一人一人の子どもに対して、丁寧に振り返りをしている。
- ・保護者にしっかり子どもの様子を伝えている。

事業所の改善点

- ・ホームページの更新、避難訓練の実施、マニュアル有無の周知を徹底する。
- ・保護者会（情報交換をする機会）を必要と感じている保護者、そうでないと感じている保護者のすり合わせ。

事業所の改善への取り組み

- ・ホームページの更新、避難訓練の実施、マニュアル等を「おたより」で周知していく。
- ・見学ウィーク等を設け、保護者同士の情報交換の場を提供していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・情報発信の周知が不足しており、保護者に認識されていない事が多いと感じた。今後は「おたより」を通して、漏れのないように確実に周知していく。

事業所名 のびの木港南

担当者 安中 優子